



南中だより

第3号

学校目標 『自ら学び・ともに繋がり・やり抜く生徒の育成』
発行日：令和5年6月1日 発行元：吹田市立南千里中学校

「自ら課題を発見し、仲間と共に解決して、考えを深めよう」

校長 生駒 靖子

5月26日には、本校を会場に、教育センター主催の授業研修会が開催されました。本校では今年度、学力向上・校内研修委員会により研究のテーマについて下記のように設定しました。

学習指導要領に沿った授業づくりを行いながら、生徒に求められる力の育成を図るべく、能力ベースの授業に焦点を当てる。
テーマ「自ら課題を発見し、仲間と共に解決して、考えを深めよう」

年間3回の研究授業を含めた授業研究会を実施し、授業アプローチについて、検証していくこととしています。今回の公開授業は、本市がめざす授業の在り方を広く示していく機会となっており、同時に本校で開催されることにより、校内研修とも兼ね、全教員が参画しました。

本時は3年生国語『握手』（井上ひさし）が題材です。本単元では、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動を通して、客観的に物事を捉えながら自分の考えを批評文として書く活動をゴールとしています。学習指導要領には、「“批評する”とは、対象とする事柄について、そのものの特性や価値などについて、根拠をもって論じたり評価したりすることである。」「考えたことなどを伝え合う際には、例えば、物語の展開の仕方や表現の効果について、根拠となる部分を挙げて客観的に説明することが考えられる。」とあります。これらは、最終ゴールとして、「義務教育修了段階として、社会生活の中の様々な事象について、より広い視野をもって自分の意見を形成することができるようにすることが重要である。」とされ、今回の研究授業もそうしたゴールに迫る授業となっているかを検証することで、授業者のみならず、各教員の日々の授業目的や手法を問い直し、生徒に身につけさせたい力を明確にイメー

ジを持って授業に臨むことにつなげていくというねらいがあります。このことは、教科の特性を生かし教科を切り口として追究していくべきことで、今年度継続しながら授業改善につなげていきたいと考えます。

隣のクラスでしたが、公開授業の数日前にも本単元の授業観察をしていたところ、チャイムが鳴ってもタブレットに批評文の入力を続けている生徒が目にとまり、尋ねてみました。

校長「この授業はどう？楽しい？」

生徒「はい、楽しいです。これまでの授業は先生の問いに対して、答えを返す、ということがほとんどでした。だけど、今回は自分でいろいろと考えて、好きなことが書けます。友だちの考えも聞いたり、言ってもらったりして楽しいです。」との返事が返ってきました。学習指導要領がめざす、“主体的・対話的で深い学びの実現”に一歩近づいていることが感じられました。作成した批評文は、単元終了後、千里図書館にて展示ブースをお借りし、市民向けにも発信します。学びの発信は、生徒の自己有用感を高め、学びに対するモチベーションアップにもつながることでしょう。(6/23～30 展示決定しました。ぜひお立ち寄りください。)

さて、6月9日には1年生が万博公園に、2年生は京都・嵐山方面に、6月11～13日には3年生が待ちに待った修学旅行に出かけます。それぞれに事前学習に取り組み、役割分担により自らのミッションを自覚し、当日も仲間とともに楽しく過ごせることに注力していただくことでしょう。コロナ禍でこうした取り組みがなかなかできなかった3年間を経て、今年度はようやく通常スタイルで実施できます。“We make 南中 & I make 南中”の精神で、今しかできない充実の時間を作り上げてくれることでしょう。そして、本行事も「自ら課題を発見し、仲間と共に解決して、考えを深めよう」の実践版としてくれることを期待しています。

令和5年度学校評議員の皆様

今年度も引き続きお世話になります。ご意見等いただきながら学校運営に生かしてまいります。

松山 健司 様（少年補導員） 佐々木郁理恵 様（民生・福祉委員会）

福間 幹芳 様（元PTA会長・人権啓発推進協議会地区代表） 中島 一憲 様（元PTA会長）

古賀 千枝子 様（青少年指導員会、千里山竹園児童センター） 順不同

花いっぱいプロジェクト

4月には正門前の花壇がパンジーで彩られていました。
5月下旬には、マリーゴールドに植え替えていただき、
これからの季節、ビタミンカラーの花を咲かせ、元気を
くれることと思います。お世話いただきありがとうございます。
校庭での野菜づくりも合わせまして、地域教育
協議会の学校教育支援活動として実施していただいでい
ます。



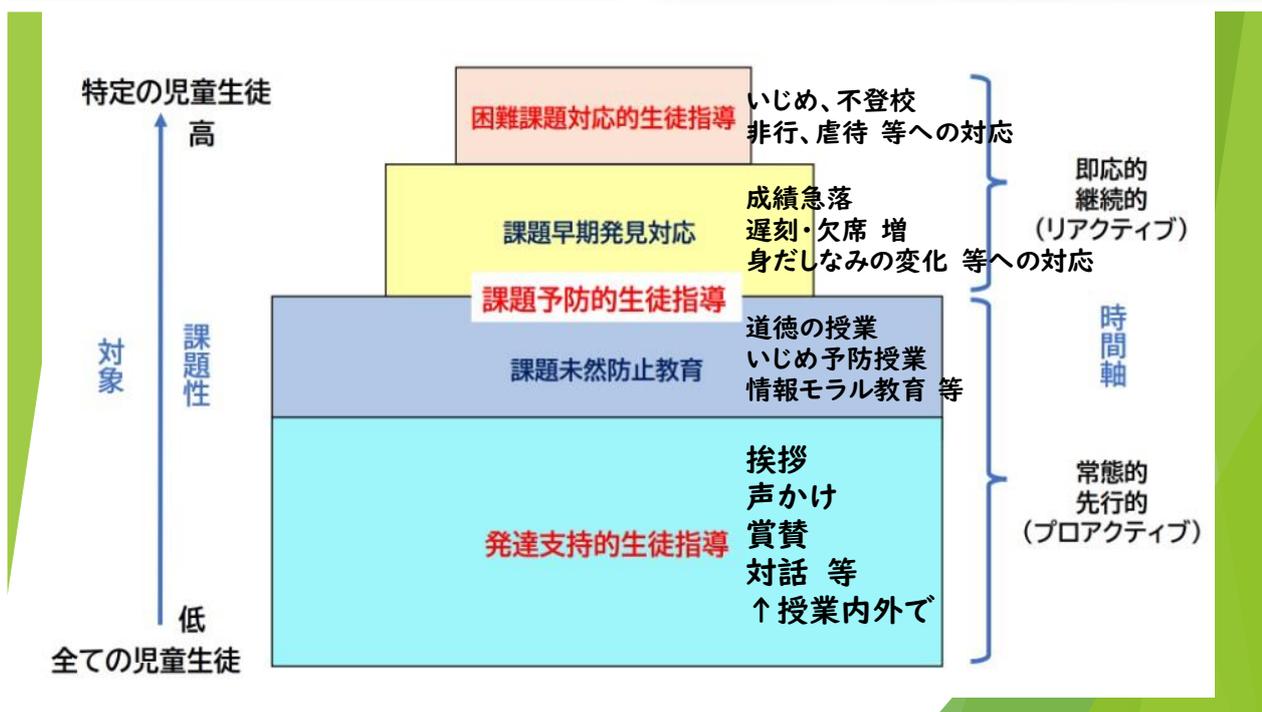
校内支援体制

- 1 特別支援コーディネーター（音楽科 高橋教諭）
各校に必置とされており、主に発達面に関して生徒本人や保護者の方の教育的ニーズに寄り添い、相談を受けたり、専門機関との連携により、よりよい支援について今後の方向性をともに考えていきます。支援学級の活用についても相談できます。
- 2 SSW：スクールソーシャルワーカー（谷 明香）
本市では、中学校ブロックに1名週2日の配置があり、本校では千里新田小学校と同じ担当者で、毎週水曜日に来校しています。社会福祉士の資格があり、生徒本人や保護者の困り感について相談窓口になり、必要ある場合はSC（スクールカウンセラー）や福祉的な視点で関係機関へつなぐことにより、課題の改善をめざすものです。
- 3 SC：スクールカウンセラー（仲本 兼太）
本市中学校では、大阪府より週1日1名（本校では水曜日）が派遣されています。学習面や友人関係等の学校生活や家庭での悩み事について相談できます。相談枠を予約いただくとスムーズです。担任への申し出または教頭へご連絡ください。
- 4 生徒指導会議
毎週水曜日4限に生徒指導会議を開催し、学校全体の情報を共有し、必要時には課題解決に向けてのアセスメントを行い、方策を検討しています。本市における中学校ブロック配置の学校問題解決支援員も参画し、よりよい解決に向け、助言にあたっています。
- 5 いじめ防止基本方針
学校HP（学校紹介内）に掲載しています。「いじめは絶対に許さない」学校を構築するため、「いじめ防止」「いじめの早期発見」「いじめに対する措置」等に関する基本方針を定めています。学期ごとのアンケートや年間複数回の校内研修等実施しています。

4月4日には第1回生徒指導研修として、校内ルールの共有化に努めましたが、今回は『生徒指導提要』（生徒指導の基本的な考え方を文部科学省が示したもの）の改訂のポイントとして、これまでの事後指導的な生徒指導を中心とした考え方を脱却し、新たに“発達支持的生徒指導”や“課題予防的生徒指導”へのアプローチが重要視されたこと等の内容を確認しました。下記目的を実現するために、①自己存在感の感受②共感的な人間関係の形成③自己決定の場の提供④安心・安全な風土の醸成の視点が挙げられています。本校教員が“チーム学校”を機能させ、課題には真摯に向き合いながら、生徒の最善をめざし、“自己指導能力”の育成に努めていきたいと考えます。どの場面においてもご家庭のご協力が欠かせません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を（**支える**）と同時に、自己の幸福追及と社会に受け入れられる自己実現を（**支える**）ことを目的とする。



5月26日 3年生国語科 公開授業・授業研究会

学習指導要領がめざす授業づくりを念頭に今年度研究を重ねています。



R5 (2023) 年度 6 月 行事予定

吹田市立南千里中学校

日	曜	行 事	1	2	3	4	5	6
1	木							特
2	金	物品販売						23 総
3	土							
4	日							
5	月							研修
6	火	耳鼻科検診 PM						
7	水		道					補填
8	木	心臓検診2次PM						特
9	金	1・2年校外学習 特別時間割 教育実習終了 2次検尿② 3年修学旅行事前指導(6限)						3総
10	土							
11	日	3年修学旅行						
12	月	3年修学旅行 特別時間割						
13	火	3年修学旅行 歯科検診(1・2年) 特別時間割						
14	水	3年 代休 心臓2次検診(予備日) 特別時間割	道					
15	木	第1期学校諸費再口座振替日						特
16	金	歯科検診(1・3年) 9:00~ 物品販売						23 総
17	土							
18	日							
19	月							補填
20	火	最終検尿						
21	水	期末テスト	テ	テ	テ	/	/	/
22	木	期末テスト	テ	テ	テ	/	/	/
23	金	期末テスト(3年) 1・2年授業(2限まで) 全校集会(3限)	テ	テ	/	/	/	/
24	土							
25	日							
26	月	道徳研究授業(6限) 講演会(放課後) 第2期学校諸費口座振替日						研究 授業
27	火							
28	水		道					補填
29	木							特
30	金	授業アンケート(6限)						23 総
7 月 予 定		18 人権講演会(2~4限) 12~19 個人懇談 20 1学期終業式、大掃除、特活 21 夏季休業開始						